
ソーセージアイス@オープニングはアッコと僕

カラシニコフa.k.a AK-47

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソーセージアイス@オープニングはアッコと僕

【Nコード】

N2368J

【作者名】

カラシニコフ a . k . a A K - 4 7

【あらすじ】

僕の日常生活のワンシーン

出会い

もうね、ハッキリ言っけど二丁の僕が悪いんじゃないって社会が悪いの

自宅警備は立派な職業です

なんて朝から勝手な事をほざきながらいつものコンビニに行くとき看板が立って見てみると「ちょっとだけ近くに移転しました コッチ」

近くに別のコンビニもないし朝ご飯も買わないといけないから矢印の方に少し歩くとまた看板があつて「ちょっとだけ近くに移転しました コッチ」

同じ事を繰り返す事かれこれ15回目ぐらいではないだろうか？

ちょっとだけ近くとかじゃなくてかなり遠くまで来させられてるし、マジでこんな冗談は困る、やめてほしい、28回目ぐらいの看板の

次がようやくコンビニだった、

街のホットステーション、そう青い看板のアレ

店に入っておでんの鍋を覗いてみるとどの仕切りの中もこんにゃくだった、タバコはわかばとエコーしかないし、マジでこんな冗談は困る、やめてほしい、切実に

仕方なくオープニングセルのソーセイジアイス（13円税込）を、10本買って、帰りに一本食べてみたら、なんか甘酒みたいな味かしてトウモロコシみたいな食感だったから、残りの9本をどうするか考えながら歩いてると、全く知らない所を歩いていた

考え事をしながら歩くといつも知らない所に来てしまう悪い癖だ

しばらく歩くと見知らぬ男子校のが見えてきた

正門の前まで行くと和田アッコが男子高校生に声を掛けまくっていた、せっかくだから服の背中にサインをお願いしたら快く承諾して

くれたので、ついでに平手打ちをお願いしたら「それはダーの人だ
ろ」って言われて平手打ちをされた

なんか腑に落ちないけど結果オーライ、お礼にソーセイアイスを
あげたら「ここは坊主の高校生が多いからEなりかずきみたいなた
レントの卵を探すのに適している」と教えてくれた

そして僕とアッコは校内を探索する事にした

そして別れ

アッコは躊躇う事なく正門から入って行ったので事務所と学校の繋がりがあるのかと尋ねると

「へたに侵入するより堂々と入った方が怪しまれない」

らしい…

校庭を横切り玄関に向かうとそのまま土足でズカズカと校内に入り階段を登ると何か部室みたいな部屋があった

入り口の扉が開いていたので入ってみると何か描きかけのマンガがあつて見ようとしたらアッコが

「これは駄目なマンガ」

とあ言つて全部ビリビリに破いてゴミ箱に捨てて火をつけて燃やしたら火災報知器が鳴りだしたから撤収する事にした

消防車とか来て大変な騒ぎになってきたから帰ろうとしたらアッコに電話番号を聞かれたからとりあえずメアドを教えようとしたら指

が太いからメールは苦手と言われたので携帯番号を交換した

アッコが駄目と言ったマンガが最初にチラッと見えたけど男同士が裸で抱き合ってる絵が見えたけど何なんだろう

別の日常

今日は迷うことなくあのコンビニに…

もうねはっきり言って自分がわかりません

コンビニに行くつもりが何で駅前に来てるのかと

仕方ないから家の方角であろう方向に向かって行くと前からカラフルでポップなぬいぐるみみたいな集団が現れたのでついて行く事にした

後をついていくとデパートの屋上にまで来てアドバルーンを眺めているだけで何もなく三時間ぐらいたったから帰ろうとしたら集団が慌ただしくなった

屋上から下を見るとダークでシックにきめたぬいぐるみみたいな集団がいた

何だか鉢合わせするとダメみたいだから今日は解散らしい

ぼくも帰ろうとしたら

「あいつらには内緒だから、あと来週の火曜日も来いよ」

と言われたのでカラフルでポップなぬいぐるみみたいな服を デパ
ートの二階買って帰りました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2368j/>

ソーセージアイス@オープニングはアッコと僕

2010年11月18日11時36分発行